

No.	018	—	3001	事務事業名	農業集落排水使用料及び分担金徴収事務	細事務事業名	農業集落排水使用料・分担金事務	公的関与	3				
PLAN	課名	下水道課	係名	管理係	電話番号	089-964-4417	メールアドレス	gesuido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	9年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	4 下水道等の整備		主要施策	(2) 農業集落排水施設の適正管理				
	事業の対象	下水道使用者・下水道受益者				根拠法令	東温市農業集落排水条例・分担金徴収条例						
	事業の目的	最終的	下水道使用料及び受益者負担金を適正に賦課するとともに、徴収率を高めます。			今年度							
	活動内容	①	使用開始届に基づき、下水道台帳へ登録を行います。			④							
		②	検針データに基づき、下水道使用料を賦課徴収します。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		使用料現年分収納率		収納額／調定額		%	目標 98	98	98	100			
					実績 98	96							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	農業集落排水特別会計		費目名	運営管理		費					
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,059 千円	1,068 千円	1,063 千円								
	計(A)	1,059 千円	1,068 千円	1,063 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.012 人	73 千円	0.012 人	72 千円	0.012 人	72 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,132 千円	1,140 千円	1,135 千円								
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	下水道の整備により恩恵を受ける使用者(受益者)に対して賦課徴収を行う事務であり、負担の公平性を保つためにも継続して実施する必要があります。												
有効性	下水道事業の健全な運営に寄与するものであり、有効な事務です。												
達成度	現年分の未納者が継続的に発生しており、対策を強化する必要があります。												
効率性	現年分の徴収事務については、水道課に委託し、水道料金と一体徴収することで事務の効率化を図っています。												
当面の課題	公平性の確保のため、引き続き収納率の向上に努めます。												
改 革 画	水道課と連携をしながら、現年度の徴収について滞納が発生した場合は、早期に対応し、新規未納者の解消に努めます。												
二次評価者	下水道課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	公平性を保つためにも、実効性のある滞納整理計画を立て、新規滞納者の発生抑制と、過年分の滞納者改善の取り組みに努めて下さい。												

No.	018	—	3002	事務事業名	下水道使用料、賦課徴収及び負担金関連事務	細事務事業名		公的関与	3				
PLAN	課名	下水道課	係名	管理係	電話番号	089-964-4417	メールアドレス	gesuido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	13年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	4 下水道等の整備		主要施策	(5) 下水道事業の健全運営				
	事業の対象	下水道使用者・下水道受益者				根拠法令	下水道法・東温市下水道条例						
	事業の目的	最終的	下水道使用料及び受益者負担金を適正に賦課するとともに、徴収率を高めます。			今年度							
	活動内容	①	使用開始届に基づき、下水道台帳へ登録を行います。			④	土地所有者へ申告書を送付し、受益者を確認します。						
		②	検針データに基づき、下水道使用料を賦課徴収します。			⑤	受益者に対して受益者負担金の徴収を行います。						
		③	新規供用開始区域について、賦課区域の公告を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		使用料現年分収納率	収納額／調定額		%	目標	98	98	98	100			
			%	実績	98	99							
負担金現年分収納率		収納額／調定額		%	目標	96	96	98	100				
			%	実績	98	100							
DO	予算費目	会計	公共下水道特別会計		費目名	公共下水道事業			費				
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	1,149千円	1,953千円	1,217千円								
		一般財源	8,017千円	8,229千円	8,295千円								
	計(A)	9,166千円	10,182千円	9,512千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.981人	5,978千円	0.981人	5,899千円	0.981人	5,908千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		15,144千円	16,081千円	15,420千円								
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	下水道の整備により恩恵を受ける使用者(受益者)に対して賦課徴収を行う事務であり、負担の公平性を保つためにも継続して実施する必要があります。												
有効性	下水道事業の健全な運営に寄与するものであり、有効な事務です。												
達成度	現年分の未納者が継続的に発生しており、対策を強化する必要があります。												
効率性	現年分の徴収事務については、水道課に委託し、水道料金と一体徴収を行うことにより事務の効率化を図っています。												
当面の課題	公平性を保つため、引き続き収納率の向上に努めます。												
改 革 画	水道課と連携をしながら、現年度の徴収について滞納が発生下場合は、早期に対応し、新規未納者の解消に努めます。												
二次評価者	下水道課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	公平性を保つためにも、実効性のある滞納整理を立て、新規未納者の発生抑制と、過年度分の滞納者改善の取り組みに努めて下さい。												

No.	018	—	3013	事務事業名	下水道施設維持管理事業	細事務事業名	施設維持管理事務	公的関与	3				
PLAN	課名	下水道課	係名	管理係	電話番号	089-964-4417	メールアドレス	gesuido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	12年度～年度				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	4 下水道等の整備		主要施策	(5) 下水道事業の健全運営				
	事業の対象	公共下水道施設				根拠法令	下水道法						
	事業の目的	最終的	適正な維持管理によって施設の機能発揮及び保持を行い、適正に汚水を処理し生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を行います。				今年度	適正な維持管理によって施設の機能発揮及び保持を行い、適正に汚水を処理し生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を行います。					
	活動内容	①	公共下水道施設(処理場2箇所・マンホールポンプ場11箇所)の維持管理事務				④	緊急対応及び施設点検					
		②	汚泥処理に関する事務				⑤	調査・報告・届出関係事務					
		③	機器の維持修繕に関する事務										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標		
		水質(川内浄化センター) BOD(生物化学的酸素要求量)		処理場の設計や維持管理に用いられる水質項目で、水の汚濁状態を表す。			mg/l	目標 15以下	15以下	15以下	15以下		
実績 3						3	3						
水質(重信浄化センター) BOD(生物化学的酸素要求量)		処理場の設計や維持管理に用いられる水質項目で、水の汚濁状態を表す。			mg/l	目標 15以下	15以下	15以下	15以下				
実績 3						3	2						
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	公共下水道特別会計			費目名	公共下水道事業						
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	140,683千円	156,039千円	187,552千円								
	計(A)	140,683千円	156,039千円	187,552千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.352人	2,145千円	0.352人	2,117千円	0.352人	2,120千円					
臨時職員工数・経費		0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		142,828千円		158,156千円		189,672千円							
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	公共用水域の水質保全、快適な生活環境を維持するために必要であり、事業を廃止・休止することが出来ない事業です。												
有効性	技術力のある民間委託により処理施設の機能を適正に保持し、放流水質の安定・向上を図り、公共用水域の水質保全に貢献しています。												
達成度	適正な維持管理が行われており、処理された放流水の水質は良好な状態に保たれています。												
効率性	委託できるものについて民間委託を行っており、現在、維持管理事務について最小限の人員で行っています。将来は、効率性を上げるため、更なる委託方法の検討を行い、増大する維持管理業務の適性化に努めます。												
当面の課題	事業の完了後(運転開始)10年以上経過している施設もあるため、施設の計画的なメンテナンス、維持管理が今後の課題となります。												
改訂計画	計画的なメンテナンスを行うにあたり、長寿命化計画の策定をたてるため、H28に15年診断を予定しております。また、日常の維持管理において異常の早期発見に努め、緊急時に迅速かつ的確に復旧に向けて対応できる組織を維持するとともに、放流水質を良好に保ち、快適な生活環境を提供するため、緊急時の迅速な対応・事故故障等の未然防止を図ります。												
二次評価者	下水道課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	適切な施設管理を行うことは、安全、安心な生活環境の維持に不可欠です。今後とも、危機管理体制の充実を図り、施設のメンテナンス等を計画的に行い、水質保全に努めて下さい。												